

複式学級 5月の暮らし（令和5年5月）



複低では、参観日に道徳の授業で、『そりゃあもういい日だったよ』という絵本を読み聞かせ、一人一人が自分を振り返って4コマ漫画を作る活動を行いました。授業後に保護者の方がたくさんのメッセージを寄せて下さいました。

「普段の様子を見ることができ、子どもたちが受け身ではなく主体的に動き考える姿に驚きました。2年生はもちろん、1年生もみんな参加し考えていて、これから成長する姿が楽しみだなと思いました。」「嬉しかったことや楽しかったことを無邪気に話す姿を見て、当たり前のように、幸せに充実した日々を過ごしているんだなと感じました。」子どもたちからは「次の参観日でもお家に人からメッセージをもらいたいなあ。」という声が聞かれました。自分たちが描いた4コマ漫画を見る度に、「何気ない毎日が宝物なんだ」という実感をじわっと思い起こしてほしいなと思いました。



複中では、音楽の学習が行われています。鍵盤ハーモニカでの演奏の前に、両手を使って音程を確かめているところです。「少し高くないかな?」「もう少し低めだよ。」とみんなで声を掛け合いながら、楽しそうに取り組んでいました。



複高は、運動会に向けての動きがたくさんありました。全校での応援のために事前に計画をしたり、係に分かれて運動会の運営のために動いたりで大忙し。

そんな中で、複高の子どもたちが楽しみにしていたのは養護学級との合同種目『力をあわせて』でした。弁当を一緒に食べるなどして交流を深め、良い雰囲気練習を進めました。結果は様々でしたが、みんなよく頑張りましたね!

